

第 74 回北海道放送教育研究大会
第 68 回北海道視聴覚教育研究大会
合同大会 石狩大会 に寄せて

北海道地方放送教育研究協議会
会 長 安藤 英美

第 74 回北海道放送教育研究大会 第 68 回北海道視聴覚教育研究大会 合同大会 石狩大会が、北海道地方放送教育研究協議会、北海道視聴覚教育連盟、NHK 札幌放送局の主催のもと、関係諸団体並びに関係の皆様のご尽力により、このように開催されますことに感謝申し上げます。

今年度は、海のまち石狩より、全道の放送教育・視聴覚教育関係者が日頃の実践を結集し、合同大会石狩大会としてオンラインによって行われます。今年度も北海道視聴覚教育連盟と合同で研究大会を開催できることの歴史的な意義を受け止め、また、合同で開催することで、本大会の主題である「心を揺さぶり 主体的・対話的で深い学びを創造する 放送教育・ICT 教育」並びに副主題である「個別最適な学び・協働的な学びの充実を図る授業改革」にせまり、子どもたちの学びの充実のために、新たな可能性を探究していけると考えています。

この探究の中核にあるのは、NHK for School による学校放送番組や様々なコンテンツです。これらを授業に機能させ、一人一台端末などの ICT 機器を活用することで、個別最適な学びや協働的な学びを充実させることができれば、子どもたち自らが見方・考え方を働かせ、資質・能力を獲得するために大きく効果があると考えます。本大会でも NHK for School の番組を活用した授業の中に、ICT の活用を盛り込みながら、幼稚園、小学校、中学校での実践を公開いたします。

この度の感染症の感染拡大により、教育現場においては感染拡大防止と充実した教育活動の両立を図るために様々な模索が行われてきました。その中で見つけた新しい形や視点での授業が今回の大会でも随所で見られることと思います。どんな時も、私たちが子どもたちに望むことは「社会の変化に対応し、自ら進む道を切り拓き、充実した日々を送ることができる生きる力を身に付ける」ことです。このことを念頭に、時代に合った教育活動を考えていくことが、教育に携わる私たちに求められていることであり、必要とされている力です。本大会がそれらを存分に発揮する好機になることを願っています。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり、ご支援を賜りました北海道教育委員会様、私立幼稚園協会様、石狩教育委員会様、関係校長会様および関係教頭会様、ご講演並びにご指導いただく札幌国際大学 全学共通教育部 情報教育部門 准教授 安井 政樹 様、研究授業並びに実践発表をお引き受けいただいた皆様、大会準備に当たられた放送教育および視聴覚教育関係諸団体の皆様に感謝とお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。